

江戸の 敏腕プロデューサー 版元 葛屋重三郎と 浮世絵 ～人気絵師 歌麿・写楽の べらぼうな魅力～



＝葛屋 重三郎＝
寛延3年(1750)1月7日～
寛政9年(1797)5月6日。
江戸時代中期から後期にかけ
て活動した版元。喜多川歌麿
や東洲斎写楽などを手がけた。



日時 令和7年10月1日(水)
14時～15時30分

定員 24名(先着順)

参加費 無料

場所 文化会館 地階 第1・2会議室

対象 町内在住・在勤及び当館クラブ生

講師 菅原真弓氏



【プロフィール】

大阪公立大学大学院文学研究科教授。博士(哲学、学習院大学)。専門は日本美術史。(財)中山道広重美術館学芸員、京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)および歌山大学准教授、大阪市立大学大学院文学研究科教授を経て現職。特に江戸時代の終わりから明治期における媒体(主に版画等)に描かれた事物から、その時代の流行や世相などについて、また浮世絵「研究」の国内外における齟齬と、浮世絵自体の画面が近代絵画に与えている影響についての研究にも取り組んでいる。著書に、『月岡芳年伝 幕末明治のはざまに』(2018年、中央公論美術出版、第69回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞)、『明治浮世絵師列伝』(2023年、中央公論美術出版)などがある。

【申込み】9/3(水)～20(土)までに

直接文化会館事務所にお越しいただくか、電話でお申込みください。

受付は先着順ですので、定員に達した時点で申込締切となります。

また、応募が定員の1/3に達しないときは中止となる場合がございます。

【問合せ】忠岡町文化会館(月・火・祝日休館日) ☎33-1151

